

賢い補聴器選びのための補聴器比較表

※印刷してお使い下さい。

補聴器は、メーカーによって音質が異なります。ご自分に合った聞こえを上手に選びましょう。
下の表に、ご購入を検討する補聴器名や聞き心地などを書き込んでご利用ください。

(補聴器選びの手順例)

1. ご予算の目安をたてる
2. 補聴器のタイプを決める
3. 試聴して聞こえの比較をする

レシーバー分離タイプを比較

耳せんの部分に、音を出すレシーバーを組み込んでいるので、より鼓膜の近くで明瞭に聞こえます。
オープン対応なので、自分の声が響くこもり感が少なくより快適です。

社名 / 商品名	価格	タイプ	チャンネル	指向性	雑音抑制	ハウリング抑制 (ピーピー音防止)	その他の性能・聞き心地
ベルトーン / True-9 -63DW-Plus	¥218,000	レシーバー分離型 オープン超小型 耳かけ	9ch	環境適応型 フルオート指向性 (同時雑音追尾 は最大6個)	-9dB/-6dB/-3dB	逆位相ハウリング マネージャー (軽・中・強)	*内部部品までナノコート。汗や汚れに強い。 *テレビ・携帯電話と無線通信し、声が直接聞こえる ワイヤレスオプションあり。 *312電池使用
/							
/							
確認事項	同じくらいの価格でも、音質や聞こえ方はメーカーによって違います。 ご自分に合った音質と性能で納得の行く補聴器選びをしましょう。	補聴器に馴染んでいくために、自分の聞こえに合ったタイプ選びはとても大切です。同じシリーズの中にオーダーや耳かけなど、いくつかのタイプがあります。	各社基準が違うので単純な比較はできませんが、同じメーカーの中で比較した場合は数字が大きい方が音質が良く、細かい調整ができます。	指向性を働かせると騒音下での会話の聞こえ方が違います。指向性の性能も器種によって大きく違う場合があります。	補聴器を快適に使うための重要な機能です。雑音抑制を最大にかけてどのくらい聞こえが違うか聞き比べをさせてもらいましょう。	ピーピーと鳴る不快な音を抑制して快適に使うため、聴力の低下している方ほどより重要となる機能です。	小さい補聴器は使用する電池の大きさも小さくなり、その分電池寿命も短くなる傾向があります。電池の価格や電池一粒の寿命などについても、説明を受けておくと良いでしょう。